

# フィールドと文献から見る

# 日琉諸語の系統と歴史

2018年

12月22日 **土** 15:00~18:00

12月23日 **日** 9:00~16:30

於:国立国語研究所 講堂

12月22日(土) 15:00~18:00

「文献調査とフィールド調査による準体研究の展開」  
坂井美日(日本学術振興会/国立国語研究所)

「琉球諸語と古代日本語からみる祖語の指示体系試論」  
衣畑 智秀(福岡大学)

「方言研究から歴史変化を、歴史変化から方言解明へ」  
ウェイン・ローレンス(オークランド大学)

ディスカッション  
ディスカッサント: ジョン・ホイットマン(コーネル大学)

12月23日(日) 9:00~16:30

■午前の部  
「琉球諸語の動詞形態論の歴史的变化」  
狩俣 繁久(琉球大学)

「八丈語の動詞形態論 古層の保持と変化」  
金田 章宏(千葉大学)

「本土諸方言の動詞形態論の歴史的变化:ラ行五段化を中心に」  
佐々木 冠(立命館大学)

ディスカッション  
ディスカッサント: 屋名池 誠(慶應義塾大学)

■午後の部  
「琉球語研究における系統樹研究の可能性」  
狩俣 繁久(琉球大学)

「分岐学的手法に基づいた日本語・琉球語諸方言の系統分類の試み」  
五十嵐 陽介(一橋大学)

「日琉諸語の系統分類と分岐について」  
トマ・ペラルル(フランス国立科学研究センター)

ディスカッション

詳細情報:  
[https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/m-2018/20181222\\_2-sympo/](https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/m-2018/20181222_2-sympo/)

主催:  
■国立国語研究所プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」  
リーダー: 木部 暢子(国立国語研究所 言語変異研究領域 教授)  
■科研費 基盤研究B「比較言語学的方法による日本語・琉球諸語諸方言の祖語の再建および系統樹の構築」  
研究代表者: 五十嵐 陽介(一橋大学)